

平成28年度 定期作況報告

(10月20日現在)

北海道立総合研究機構
農業研究本部畜産試験場

I 気象概況

9月下旬：平均気温は13.5℃で平年に比べやや高かった。降水量は平年比71%、日照時間は平年比104%でともに平年並であった。

10月上旬：平均気温は9.8℃、降水量は平年比83%、日照時間は平年比101%でいずれも平年並であった。

10月中旬：平均気温は8.2℃で平年並であった。降水量は平年比50%でやや少なかった。日照時間は平年比121%でやや多かった。

以上のことから、本期間は平年と比較して気温は平年並、降水量はやや少なく、日照時間は平年並であった。

	9月下旬			10月上旬			10月中旬		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温 (℃)	13.5	12.1	1.4	9.8	10.4	△ 0.6	8.2	8.4	△ 0.2
最高気温 (℃)	18.3	16.9	1.4	15.1	15.2	△ 0.1	13.5	13.4	0.1
最低気温 (℃)	8.5	7.2	1.3	5.1	5.8	△ 0.7	2.8	3.4	△ 0.6
降水量 (mm)	23.5	33.2	△ 9.7	46.0	55.1	△ 9.1	22.0	44.4	△ 22.4
降水日数 (日)	3	3.8	△ 0.8	8	4.5	3.5	4	4.5	△ 0.5
日照時間(時間)	51.7	49.8	1.9	45.7	45.3	0.4	62.4	51.5	10.9

注1. 各数値は旬の平均または合計。△印は減を示す。

注2. 平年値は前10か年の平均値。

Ⅱ 作 況

1. 牧草 採草型チモシー

3 番草作況 : 不 良

1～3 番草通算作況 : やや不良

事由 :

[3 番草]

3番草の刈取は平年より2日早い10月11日に行った。乾物収量の平年比は2年目草地在36%、3年目草地在25%といずれも極めて低収であった。

以上より、3番草の作況は不良である。

[1～3 番草合計]

1～3番草合計乾物収量は2年目草地在954.9kg/10a（平年比92%）、3年目草地在915.2kg/10a（平年比91%）であった。

以上より、1～3番草合計の作況はやや不良である。

調査項目 :

	2 年 目 草 地			3 年 目 草 地		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
3 番草収穫日 (月.日)	10.11	10.13	△ 2	10.11	10.13	△ 2
生育日数	69	69	0	69	69	0
収穫時草丈 (cm)	38	53	△ 15	37	52	△ 15
生草収量 (kg/10a)	256	715	△ 459	158	641	△ 483
乾物率 (%)	25.6	25.5	0.1	26.6	26.6	0
乾物収量 (kg/10a)	65.2	179.2	△ 114.0	42.0	166.5	△ 124.5
同上平年比 (%)	36	100	△ 64	25	100	△ 75

1～3 番草合計						
乾物収量 (kg/10a)	954.9	1034.2	△ 79.3	915.2	1010.6	△ 95.4
同上平年比 (%)	92	100	△ 8	91	100	△ 9

注 1) 平年値は前7カ年のうち、平成23年(最豊年)及び平成22年(最凶年)を除いた5カ年平均値。

2) △は減または早を示す。以下の表も同じ。

2. サイレージ用とうもろこし

作況：不良

事由：

播種は平年と同日の5月18日、発芽期は平年より7日早い5月24日であった。6月からの低温・多雨・寡照の影響により、開花までの生育は非常に緩慢で草丈は常に平年値を大きく下回った。雄穂開花期、絹糸抽出期はいずれも8月7日で、平年より6～7日と大幅な遅れであり、稈長は232cmで平年より37cm低かった。収穫期は平年より5日遅い9月21日、収穫時の熟度は黄熟初期であった。茎葉、雌穂、総体の生草収量は対平年値比で、83、63、76%と標準偏差の2倍を超える低収であった。これに加え、乾雌穂重割合は平年より10.9%、総体乾物率も3%低く、総体および雌穂の乾物収量、並びに推定TDN収量の平年比はそれぞれ69、56、66%で記録的な低収であった。

以上のことから、本年の作況は不良である。

調査項目：

		本年	平年	比較	平年比
播種期（月・日）		5.18	5.18	0	-
発芽期（月・日）		5.24	5.31	△ 7	-
草丈（cm）	6月20日	26	37	△ 11	-
	7月20日	128	170	△ 42	-
稈長（cm）	8月20日	232	269	△ 37	-
葉数（枚）	6月20日	5.9	6.1	△ 0.2	-
	7月20日	13.4	13.9	△ 0.5	-
	8月20日	15.9	16.1	△ 0.2	-
雄穂開花期（月・日）		8.7	8.1	6	-
絹糸抽出期（月・日）		8.7	7.31	7	-
収穫期（月・日）		9.21	9.16	5	-
収穫時熟度		黄熟初期	黄熟初～中期	-	-
総体生草収量（kg/10a）		4,083	5,365	△ 1,282	76 %
総体乾物収量（kg/10a）		1,104	1,600	△ 496	69 %
雌穂乾物収量（kg/10a）		507	911	△ 404	56 %
乾雌穂重割合（%）		46.0	56.9	△ 10.9	-
総体乾物率（%）		27.0	30.0	△ 3.0	-
推定TDN収量（kg/10a）		778	1,176	△ 397	66 %

注 1) 平年値は前7カ年のうち、平成26年(最豊年)及び平成21年(最凶年)を除いた5カ年平均値。

注 2) 供試品種は「チベリウス」。